

氏名	白井 龍馬	所属	一般文科	職位	助教
----	-------	----	------	----	----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
		計画	実績	
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	40	1. 前期と後期それぞれに、本科の一般科目3科目の授業を行う。 2. すべての授業において、内容言語統合型学習(CLIL)を実践する。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	30	1. CLILの効果検証、共同実践研究を行う。 2. 在外研究員として、学生海外派遣に伴うCLILの教育効果について検証する。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	15	1. バスケットボール部顧問として、部員の活動支援を行う。 2. 英会話部顧問として、部員の活動支援を行う。
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	5	担当となる各種委員会において与えられた責務を果たす。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	10	所属学会を通して、CLILの普及や研究推進に貢献する。
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名		白井 龍馬		所属	文科	職位	助教	報告年度	令和5年度
分野	計画			実績			記載事項例		
	エフォート	内容		エフォート	内容(計画からの変更点)				
教育	40	担当科目 英語2(4単位、2クラス担当) 英語表現1(2単位、1クラス担当) 応用英語1(2単位、4クラス担当) すべての担当教科において、CLIL(Content and Language Integrated Learning: 内容言語統合型学習)を実施する。これによって英語4技能をバランスよく育てるだけでなく、「英語で学ぶ」経験を提供することによって、汎用能力育成にも貢献できるように努める。		40	すべての科目でCLILを実践し、実用的な英語運用能力の育成につとめた。		担当科目名・ 単位数 卒業研究・ 専攻科研究指 導学生数 教育方法改善 内容		
研究	20	CLIL推進のため、他校と共同研究を積極的に行う。とくに九州では関東や関西と比べて普及がすすんでいないため、関係しそうな勉強会や研修会に積極的に参加し、実践仲間を増やし、実践コミュニティができるよう努めたい。これらの計画について、科研費がとれるよう書類の作成を行いたい。		20	自らの実践を論文にまとめつつ、CLILに興味をもつ他校の先生と共同実践を行った。この成果を論文にまとめている。		論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金		
学生生活指導	5	ソフトテニスボール部顧問		5	部活動の監督や試合の引率を行った。		クラブ顧問 コンテスト指導		
校務・管理運営	30	担任 衛生委員会 図書委員会		30	2年S組担任として、学生の学校生活を支える役割を担った。衛生委員、図書委員として、会議に出席し、与えられた用務を遂行した。		主事 その他の長 学科長 委員長 部長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員		
社会活動	5	所属学会 日本CLIL教育学会 全国英語教育学会 全国高専英語教育学会		5	日本CLIL教育学会では事務局長として学会運営に貢献した。福岡県高校英語研究会にて招待講演を行った。		所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動		

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt~12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。